

令和2年度公衆衛生活動対策専門委員会

- 日 時 令和3年1月21日（木） 午後1時40分～午後2時30分
- 場 所 テレビ会議 鳥取県健康会館 鳥取市戎町
鳥取県西部医師会館 米子市久米町
- 出席者 15人
〈鳥取県健康会館〉
渡辺健対協会長、岡田委員長
加藤・小林・清水・辻田・中安・廣岡・米本各委員
健対協事務局：谷口事務局長、岩垣課長、葉狩
〈鳥取県西部医師会館〉尾崎・能勢・吹野各委員

挨拶（要旨）

〈渡辺会長〉

本日は、ご多忙のところ、ご参集頂き感謝申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、従来、継続的に行われてきた県民公開健康講座等の啓発活動が十分に開催できなかったが、その中でも、感染対策を行いながら、さまざまな工夫のもと、疾病対策ならびに健康教育活動が行われている。

本日は、昨年度、今年度の公衆衛生活動の振り返りとともに、来年度の方針につき、活発な議論をお願いしたい。

〈岡田委員長〉

本日は、ご多忙のところ、ご参集頂き、ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染の影響で、健康教育活動事業が行われていない。今後、どのように活動していくのかご意見を伺いながら、より良い形で事業を継続していきたいと思っている。ご審議の程、よろしくお願いします。

報 告

1. 令和元年度事業報告及び令和2年度事業中間報告

（1）健康教育事業：岡田委員長より説明

①日本海新聞健康コラム「保健の窓」を令和元年度は22回、令和2年度は1月現在で2回掲載した。

公開健康講座の講演内容について掲載している。

②日本海新聞健康コラム「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」を令和元年度は26回、令和2年度は1月現在で35回掲載した。

一般の方から疾病に関する質問を受付、それに対する回答を掲載している。

③鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー

令和元年度は鳥取県医師会公開健康講座11回開催（3月は新型コロナウイルス感染症の影響で中止）。なお、鳥取県の委託事業である「生活習慣病対策セミナー」については、鳥取県医師会公開健康講座のうち8回を生活習慣病セミナーにあて、3地区においても7回開催し、年

15回開催であった。

令和2年度は、毎月1回、鳥取県健康会館において鳥取県医師会公開健康講座を計画していたが、新型コロナウイルス感染防止のためほとんどが中止となり、7月開催のみであった。

また、鳥取県の委託事業である「生活習慣病対策セミナー」については年16回で、鳥取県医師会公開健康講座のうち7回を生活習慣病セミナーにあて、東中西の3地区においても3回ずつ同様のセミナーを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染の影響で、鳥取県医師会1回、鳥取県西部医師会1回 計2回開催のみであった。

（2）地域保健対策：岡田委員長より報告

平成27年度より、鳥取大学医学部消化器内科松本和也先生を中心にして「鳥取県における膀胱診療の実態調査」を行ってきた。5大がんの様に部会や対策専門委員会が存在せず、現状を分析し対策を議論する場を今後どのように形成していくか検討を進めていく。

令和2年度からは、新たに、鳥大医学部環境予防医学分野 尾崎米厚教授を中心に、鳥取県においては予防、検診から治療まで様々ながん対策に取り組まれているものの、全国に比較して罹患率が高い状況が続いているため、鳥取県特有のがんリスク要因の究明を目的として、5つのがん（胃、肺、乳、肝、膵）を対象とした「鳥取県がん症例対照研究」を行う。県内のがん患者及び健常者に対するアンケート調査を実施し、がん予防に活用できる知見を得るための分析を行う。

11月19日に第1回目の作業部会を開催し、尾崎教授より症例対照研究の調査方法と調査内容について説明があった後、協議、意見交換を行った。今後は、各委員からの意見を整理しアンケート案を作成した段階で、第2回目の作業部会を開催する予定である。

（3）生活習慣病対策事業

①地区における健康教育

〈東部医師会（加藤委員）〉

1. 東部消防局を会場にして救急医療講習会を平成元年9月7日に開催した。令和2年度は中止となった。
2. 鳥取市民健康ひろばにて、令和元年11月24日に鳥取市立病院医師による健康相談を行った。令和2年度は中止となった。
3. 東部医師会健康スポーツ講演会を令和2年2月10日開催した。また、令和3年3月18日開催予定。学校、スポーツ指導者関係者が多数参加しており、毎回、好評である。
4. 各会員による健康教育講演は、令和元年度は43回、令和2年度は12月末で18回行った。新型コロナウイルス感染症の影響で公民館は取りやめが多かったが、感染防止が取りやすい小・中学校、保健センターで行われている。

〈中部医師会（森尾委員に代わって、岡田委員長より報告）〉

1. 「住民健康フォーラム」を令和元年度は10月20日に「知っておきたい感染症対策」をテーマに開催し、参加者は32名であった。令和2年度は中止となった。
2. 各会員による健康教育講演は、令和元年度は55回行い、令和2年度は2回行った。
がん予防、生活習慣病予防の話や、学校での禁煙防止教育を中心に行っている。

〈西部医師会（吹野委員）〉

1. 健康教育講座を令和元年度は米子市内の公民館で10回、境港市で15回行った。令和2年度は12月現在で米子市内の公民館で13回、境港市で2回行った。
2. 毎月第3木曜日に米子市文化ホールで「一般公開健康講座」を行っており、令和元年度は11回、令和2年度は12月現在で1回開

催されている。毎回、100人以上参加されている。

3. 各会員による健康教育講演は、令和元年度は67回、令和2年度は集計中である。
4. 中海テレビで医師の出演による「健康プラザ（5分番組）」が放送されている。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、計画されていた講演等の中止が相次いだ。

②健康医療相談

鳥取県健康会館において、面談による健康医療相談を毎月第1～4木曜日に行っている。第1木曜日は精神科、第2及び第4木曜日は内科、第3木曜日は整形外科で実施している。

令和元年度は50件、令和2年度は1月現在で7件の相談があった。

以上の報告から、以下の話があった。

- ・会員による健康教育講演の中で、境港市の小・中学校生を対象に「防煙教室」と題して講演されている。禁煙と受動喫煙を含めた話をされているようだ。

協 議

1. 令和3年度事業計画（案）：岡田委員長より説明

（1）健康教育事業

- ①日本海新聞健康コラム「保健の窓」を年間25回掲載続行予定。
- ②日本海新聞健康コラム「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」を木曜日（月2回～3回）に掲載続行予定。
- ③鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー継続開催。

新型コロナウイルス感染状況をみながら、開

催を行っていく予定である。

（2）地域保健対策

「鳥取県がん症例対照研究」を継続実施。

（3）生活習慣病対策事業

地区医師会の健康教育、健康医療相談を継続実施。

2. その他

小林委員より、新型コロナの感染拡大が進んだ令和2年度において、各市町村で行われるがん検診の受診率は例年に比べ低い水準にとどまる見込みであり、この状況が続けば来年以降、進行がんとなって見つかる割合が増すことも懸念される。

また、75歳未満年齢調整死亡率など本県のがんに関する統計データは全国に比較し、依然として高い数値で推移していることから、検診の重要性及び生活習慣をみなおすことなどについて県民への普及啓発を図るため、令和2年度の健対協予算を活用し、「がん予防に係る県民向けの広報」として、啓発チラシの作成を行い、新聞折り込みとして県内各世帯に配布する予定である。3月に開催される総合部会でチラシの案を示して承認頂いた上で、配布したいという話があった。協議の結果、概ね了承された。

○75歳未満年齢調整死亡率 2019年データ

- ・男女計で、2018年の全国30位から45位に後退。
- ・死亡率（人口10万人あたり）数値も、72.2（2018年）→79.7（2019年）に悪化。

○鳥取県保健事業団の令和2年度がん検診受診状況見込みについては、令和元年度実績の約8割にとどまっている。